

農林漁業のうごき

京都府 No.179 平成29年 はる号

「海の京都」から 新鮮な水産物を みなさまの食卓へ!

(6ページに関連記事)



新鮮でおいしい「海の京都」の水産物



「朝獲れ水産物」の販売



府内産地市場でのセリ

主な内容

特集 1	平成29年度農林水産関係当初予算の概要（平成28年度2月補正予算の一部を含む）……………	2～5
特集 2	ものづくり・販路づくり 「海の京都」から新鮮な水産物をみなさまの食卓へ！……………	6
シリーズ	農林水産技術センターへようこそ 第3回 タスクチーム活動……………	7
トピックス	京の農林女子の悩みを軽減！便利機能商品の開発／KYO ^の 農食材御用聞き ^の の活動をご紹介します／…… 伝統の「京たけのこ」栽培を「京都援農隊」が応援！／若手農業者大交流会を開催！／ 「弁当の日」を広めよう 意見交換会／公募型木のまちづくり推進事業を実施しました！	8～9
地域の取組	府南部の量販店に「丹後の農産物」常設販売コーナーが誕生…………… 「地域農業を守るための野生獣害対策研修」を開催 森の京都「農山村教育民泊フォーラム」を開催 お茶の京都博がはじまります！	10～11
シリーズ	世界に誇れる宇治茶の魅力 第3回 宇治茶のイノベーション…………… お知らせ「平成29年春の農作業安全運動開始」「家畜を飼育している皆さんへ」	12

特集

1 平成29年度 農林水産関係当初予算の概要

(平成28年度2月補正予算の一部を含む)

京都府では平成29年度は今まで築き上げてきた基盤の上に、府民一人ひとりが互いに支え合う中で希望が実現できる「共生社会」を築くため、16の重点事業を実施することとし、一般会計で9,153億7,000万円を計上しました。

農林水産分野においても、①マーケットニーズの把握、②商品開発・ブランド化支援、③生産・加工体制の構築、④販路拡大の観点から総合的に支援することで実需者との結びつきを強め、農業をマーケットイン型へ改革するとともに、「住」×「職」のパッケージ支援により京都への移住を促進するプロジェクト等の取組を進めることとし、一般会計で約213億円の農林水産関係予算を計上しました。

6次産業化による農林水産業者の所得向上と地域の雇用確保

1 京の食ビジネス改革事業 4億8,161万円

農林水産業者の所得向上のため、マーケットインの強化から生産・加工体制の構築、販路拡大まで6次産業化を支援

① マーケットニーズの把握 690万円

外食産業等企業ニーズの掘り起こしや消費者ニーズを把握し、産地へのマッチングを支援

■ 京都農業経営強化事業

(うち実需ニーズ発掘・KYO農食材御用聞き設置事業費).....【継続 240万円】
・KYO農食材御用聞きによる実需ニーズの掘り起こしと産地へのマッチングを支援 (p.8参照)

(うち「京の食 6次産業化を進める経済人会」活動支援事業費).....【継続 150万円】
・経済界と産地の連携に必要な交流を通じ、KYO農食材御用聞きによるマッチング活動を支援

■ 「京のプレミアム米」創造事業

(うちマーケットデータ活用型「京の米」等の農産物需要創造事業費).....【新規 300万円】
・ビッグデータを活用して米等の消費者ニーズを把握し、新たな需要を創造

② 商品開発・ブランド化支援 1億928万円

府内産農林水産物のブランド力向上に資する商品・サービスの開発を支援

■ 京の食6次化ビジネス創出支援事業

(うちブランド力向上支援).....【一部新規 3,250万円】
・新商品開発に係る農林漁業者と食品関連企業が連携した取組及び農業法人等の6次化の取組を、「京の農業応援隊」による伴走や加工技術・マーケティング等の専門家派遣により支援

■ 「京のプレミアム米」創造事業

(うち「京の米」オリジナル品種開発事業費).....【新規 1,300万円】
・先行産地に打ち勝つ競争力のあるオリジナルの良食味米を開発

(うち「京の米」6次産業化事業費).....【新規 170万円】
・潜在ニーズに対応した提案型の新商品づくりを支援

■ 畜産ブランド・収益力強化事業.....【一部新規 3,038万円】

・オレイン酸等牛肉のおいしさ成分に着目した府内産和牛のブランド力向上
・オレイン酸優良遺伝子保有受精卵による和牛の増産

■ 京都産水産物生産・流通拡大事業.....【一部新規 2,470万円】

・生産拡大のための設備導入支援、新技術開発で地域ブランド創出を後押し
・「海の京都」DMO等の関係団体が連携し、地産地消の取組支援、流通・加工設備導入・試作品開発支援によりエリア内での流通・消費を拡大

■農業ビジネス支援事業

- (うち6次産業化ネットワーク推進(ソフト)活動交付金).....【継続 700万円】
 - ・市町村の行う6次産業化等を推進する戦略・構想策定を支援
 - ・農林水産業者等がネットワークを構築して取り組む新商品開発・販路開拓等を支援

③ 生産・加工体制の構築 2億8,170万円

府内産農林水産物の生産向上に資する施設などの整備を支援

- 京力農場づくり事業.....【継続 6,000万円】
 - ・6次産業化による農業経営体の経営強化を施設・機械整備助成により支援
- 京の食6次化ビジネス創出支援事業
 - (うち加工・流通体制整備).....【継続 1,000万円】
 - ・農林漁業者と食品関連企業が連携して取り組む加工製造施設等の整備支援
- 京都農業経営強化事業
 - (うち6次産業向け体制整備事業費).....【継続 4,060万円】
 - ・実需ニーズの高い生産現場での一次処理・加工機械や中間物流拠点等の整備を支援し、契約出荷率向上をめざす
 - (うち京野菜生産加速化事業費).....【継続 1億1,400万円】
 - ・ブランド京野菜など広域的な園芸産地づくりに必要なパイプハウスの整備支援
 - ・省力、低コスト生産に必要な機械・設備の整備支援
- 「京のプレミアム米」創造事業
 - (うち「京の米」生産イノベーション事業費).....【新規 5,500万円】
 - ・生産・流通機械、施設の導入による受注生産支援
 - ・施設整備による長寿命化支援
 - (うち「京の米で京の味づくり」事業費).....【新規 210万円】
 - ・「京の米」を利用する京の地場産業からの具体的ニーズに対応するための取組を支援

④ 販路拡大 8,373万円

府内産農林水産物の輸出促進や、複数の農業法人等が連携して農業生産や販路開拓を行う取組を支援

- 京の食6次化ビジネス創出支援事業
 - (うち京野菜ランド拡大・強化事業費).....【継続 920万円】
 - ・京野菜ランドに「買う」、「学ぶ」、「食べる」のうち2つ以上の機能強化を同時実施する費用を支援
 - (うち消費拡大支援).....【一部新規 520万円】
 - ・6次産業化により開発した商品コンテストの開催等
 - ・企業との連携による消費拡大を支援
- 京都農業経営強化事業
 - (うち農業法人等販売力強化支援事業費).....【継続 600万円】
 - ・農業法人等のネットワーク構築による販売支援
- 「京のプレミアム米」創造事業
 - (うち「京の米」ベンチャーコンペティション事業費).....【新規 350万円】
 - ・良食味米生産技術向上のための研修や、食味評価・分析会開催等を支援
 - ・「京の米」のレベルアップや市場評価向上を図るため、おいしい米のコンペを開催
 - (うち「京の米」ニューフロンティア開拓事業費).....【新規 270万円】
 - ・販路開拓につなげるための情報交流サイトを構築し、「京の米」に関する情報を一元化して広くPR
- 農業ビジネス支援事業.....【継続 3,513万円】
 - ・農業ビジネスに係る専門家派遣、ビジネスプラン作成及びマッチング活動等の取組を支援
- 京の農林水産物まるごと輸出総合対策事業.....【一部新規 2,200万円】
 - ・ブランド力の向上及び輸出の支援により、販路を拡大し、農家の所得向上を図る

② 農村・都市共生のまちづくり

■京都移住促進プロジェクト事業

農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした、都市との共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力ある地域を創出

- 京都で「夢実現」住まいづくり事業……………【一部新規 1億1,160万円】
・企業や市町村と連携した賃貸住宅の整備のほか、地域住民の自宅の一部(離れなど)を賃貸する場合の整備支援
- 京都で「夢実現」仕事づくり事業……………【一部新規 7,923万円】
・スモールオフィス開業の支援や営農指導等により、移住者のニーズに応じた住まいづくりを支援
- 京都で「夢体験」未来交流事業……………【一部新規 1,390万円】
・農家民泊の開設や2地域居住者向けの住宅改修の支援等により、農村と都市の交流を促進

3 農業・農村を支える「安心・安全」

総合的な治山整備や有害鳥獣対策など、府民協働による安心・安全な農林漁業、農山漁村づくりを推進

(1) 防災・減災対策

- 保安林等適正整備事業……………【継続 4億4,200万円】
・災害発生が危惧される集落に関わりの深い保安林等において、安心・安全な地域づくりのため、間伐等の森林整備や流木対策及び治山施設の整備等を実施

(2) 野生鳥獣被害対策

- 有害鳥獣被害半減総合対策事業……………【一部新規 5億1,240万円】
・メスジカやニホンザルの悪質個体の捕獲強化に加え、農地周辺での積極的な捕獲による被害対策、捕獲の担い手育成等を実施

(3) 食の安心・安全

- 食の安心・安全推進事業……………【継続 430万円】
・府民協働での食品表示の監視、食の安心・安全に係る情報提供の推進
- 食品ロス削減事業……………【新規 200万円】
・食品ロスを削減するための調理研修会、サルベージパーティーなどの開催、府民への啓発等を実施

(4) 農林水産業の基盤整備

- 農林水産業基盤整備事業……………【継続 66億2,076万円】
・ブランド京野菜などの生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤を整備するとともに、農山漁村地域の整備を実施

4 林業「森世紀」創造戦略

森林資源が伐期を迎える好機を捉え、府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築をめざした川下～川上の総合対策を実施

【川下対策】

- 府内産木材需要拡大事業……………【一部新規 1億3,506万円】
・CLTを含めた府内産木材の利用を促進し、公共施設や民間施設等における需要を拡大するとともに、府民に対し木材利用や木の文化を発信

【川中対策】

- 府内完結型木材産業構築事業……………【一部新規 1億9,440万円】
・府内完結型の木材産業体制の構築に向け、CLTの普及促進や木材加工流通施設整備を推進

【川上対策】

- 木材生産パイオニア事業……………【一部新規 2億7,999万円】
・主伐や間伐を促進することにより、出材量を増やすとともに、豊かな森づくりを推進

『豊かな森を育てる府民税』を活用した事業（一部再掲）

- 府民利用施設等木質化事業
 - ▶ 公共施設等の内装木質化・木製品の導入
- 木のまちづくり推進事業（p.9参照）
 - ▶ 民間施設での府内産木材のモデル的利用を支援するとともに、CLTを活用する場合の上乗せ補助を実施
- 京の森と木魅力発信事業
 - ▶ 林業や木の文化を発信するイベントの実施等
- 木材6次産業化事業
 - ▶ 新たな「木の文化」の魅力をPRする木製品開発支援
- 環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業（拡充分）
 - ▶ 従来の木造住宅等の建築支援に加え、北山丸太等の利用や多子世帯への補助額の引き上げ

- 豊かな森づくり推進事業
 - ▶ 花粉の少ないスギ等の植栽等の支援、主伐後の環境林造成技術の確立等
- 人と森をつなぐ環境整備事業
 - ▶ 公共治山工事と一体的に行う府内産木材を利用した林内歩道等のアクセス整備
- 京の森林文化を守り育てる支援事業
 - ▶ 地域住民による鎮守の森の保全など、京の森林文化を将来に伝える取組を支援
- 未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業
 - ▶ 流木発生のおそれのある危険木の伐採・除去等
- 府民参加型里山ふれあい事業
 - ▶ 荒廃した里山の整備を府民公募により実施
- 伝統工芸の森プロジェクト事業
 - ▶ 漆等の生産拠点「伝統工芸の森」の造成等
- ポスト育樹祭開催事業
 - ▶ ポスト育樹祭として「京都森林文化祭（仮称）」、「森林の恵み感謝祭」、「京都山キッズ交流会」の開催
- 【豊かな森を育てる府民税市町村交付金】……………3億3,750万円
 - ▶ 豊かな森を育てる府民税の趣旨に合致する市町村事業等に対して交付金を交付

<「もうひとつの京都」事業関連>

●「お茶の京都」関連

- 「お茶の京都」を支える宇治茶生産総合対策事業……………【一部新規 3,350万円】
 - ・プレミアム宇治茶認証制度による宇治茶のPRをはじめ、荒廃茶園対策や世界文化遺産登録等「お茶の京都」を支える総合対策を実施
- 「お茶の京都博」開催事業（一部）……………【新規 1,700万円】
 - ・「お茶の京都博」のうち、産業振興を目的（ビジネス向け）に開催される「宇治茶博」の開催（p.11参照）
- 茶業研究所機能強化事業……………【継続 3億2,300万円】
 - ・企業・大学等との連携、交流機能の強化など、茶業研究所のリニューアルを実施

●「森の京都」関連（セカンドステージ）

- 林業「森世紀」創造戦略事業（再掲）……………【一部新規 6,242万円】
 - ・森林資源が伐期を迎える好機を捉え、府内産木材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築をめざした川下～川上の総合対策を実施
- （うち「ポスト育樹祭開催事業費」）……………【新規 1,000万円】
 - ・ポスト育樹祭として「京都森林文化祭（仮称）」、「森林の恵み感謝祭」、「京都山キッズ交流会」の開催
- （うち「府民の森自然共生事業費」）……………【新規 2,100万円】
 - ・ペットと泊まれるキャンプ場・オートキャンプ場の新設など、森の京都エリアの中核施設である「府民の森ひよし」のリニューアルを実施

●「海の京都」関連（セカンドステージ）

- 「丹後王国」食と文化・観光の拠点づくり事業……………【継続 2,170万円】
 - ・「海の京都」の拠点施設として、「丹後王国『食のみやこ』」を拠点とした食人材育成と文化・観光のクロスオーバー産業を育成
- 京都産水産物生産・流通拡大事業（再掲）……………【一部新規 2,470万円】
 - ・生食用力キの試験生産を実施するほか、養殖等の施設導入や地産地消の取組、試作品開発等を支援

平成28年度 2月補正予算（雪害対策関係）の概要

平成29年1月14日からの大雪による多大な被害を受け、1日も早い生産再開に向けた支援の実施のために府議会平成29年2月定例会で冒頭提案を行い、平成28年度2月補正予算において、一般会計で4億8,800万円を計上しました。このうち農林分野での雪害対策としては、1億8,800万円を計上しました。

- 農林施設等雪害対策事業……………【新規 1億8,800万円】
 - ・大雪により倒壊等の被害を受けたパイプハウスや茶園の被覆棚等の復旧・撤去及び果樹や茶の樹勢回復に要する経費に対し助成
 - ・大雪により被害を受けた冠雪被害木を伐倒除去し、再造林する経費に対し助成

特集

2 ものづくり・販路づくり

「海の京都」から新鮮な水産物をみなさまの食卓へ!

豊かな京都の海で漁獲された新鮮で安心・安全な水産物をより早く、より多くの府民のみなさまの食卓へ提供できるよう、販売や流通などの分野において様々な取組をしています。その一部をご紹介しますので、ぜひこの機会に「海の京都」の水産物をご賞味ください。

府内量販店での「朝獲れ水産物」の販売

平成26年度から、週に2回、獲れたての京都の水産物をその日のうちに府内量販店（イオン各店）に配送し、夕方に「朝獲れ水産物」として店頭と並べる取組をしています。鮮度抜群の京都の魚をぜひ味わってみてください。

「朝獲れ水産物」販売の様子（イオンスタイル京都桂川）



「京さわらの旨味だし」の開発・販売

京都産のサゴシ（小型のサワラ）をぜいたくに使った、味わい深いだしを府内漁業者や加工業者とタッグを組んで開発・販売しました。（製造販売：福島鯉株）
うまみが強く、上品な京都府オンリーワンの味をぜひお試しください。



「京さわらの旨味だし」

きょうさわら「京鯖」やMSC認証付き「活メ京のあかがれい」の普及

京都の新たな水産物の目玉となるよう、府内漁業者等と協力し、「活メ京のあかがれい」や「京鯖」の普及を行っています。

<京鯖>

秋から冬にかけてたっぷり脂が乗るサワラを、獲る時から丁寧に扱い鮮度保持した「京鯖」。しっとりとした食感と強いうまみを楽しめる刺身や炙りでどうぞ。



「京鯖」

<活メ京のあかがれい>

国際的な海のエコラベルであるMSC認証※を受けた京都産のアカガレイです。水揚げ後、すぐに港で活け締めすることで、お刺身でも食べられる鮮度を実現しました。漁師しか食べられない幻の味と言われていた「しこっ」とした食感と甘みをお楽しみください。



「活メ京のあかがれい」のお刺身

※ MSC 認証

水産資源の持続的な利用と環境に配慮した漁業に与えられる国際的な認証制度。
2008年に京都府内の底びき網漁業者がアジアで初めて取得しました。

シリーズ 農林水産技術センターへようこそ

京都府の研究機関の研究内容や成果をご紹介します

第3回 タスクチーム活動

現場の課題を解決するため、新技術を研究・開発し、その早期定着・普及を図るため、研究員と普及指導員がタスクチームを結成して一体的に現地活動を行っています。

箱わな等を活用した地域ぐるみの捕獲拡大

農作物に被害を与える野生獣の捕獲拡大をめざし、各地に設置されている「箱わな」や「罫いわな」を活用し、農家と猟友会が協力して「地域ぐるみの捕獲」に取り組みました。

タスクチームが現地調査とアンケート調査を行ったところ、餌付けや見廻りといった管理が徹底されていないため捕獲施設の機能が十分に発揮されていない事例もあることが分かりました。

そこで、新鮮な餌を与えること、給餌や見廻りは交代で無理なく毎日行うことなど施設管理の留意点を「地域ぐるみの捕獲マニュアル」としてまとめ、現地指導にいかしています。

天敵を利用したトウガラシのアブラムシ類防除

トウガラシ栽培では、難防除害虫のアブラムシ被害が大きな課題となっています。

そこで環境にやさしい農業技術である、天敵のヒメカメノコテントウを利用した防除技術の現地実証を、府内3ヶ所のトウガラシ産地で取り組みました。

この技術の導入には、アブラムシの初発時期に天敵を放飼し、うまくビニールハウス内に定着させることがポイントとなるため、アブラムシの5月上旬までの初発生把握や、天敵への影響が少ない農薬散布などの技術を実証農家に実践してもらいながら、技術の実用化に必要な留意点を明らかにしました。

その結果を「ヒメカメノコテントウ製剤の使い方」としてまとめ、現地指導にいかしています。

地域ぐるみの捕獲マニュアル



罫いわなで捕獲されたシカ



トウガラシに発生するアブラムシ



アブラムシを捕食するヒメカメノコテントウ幼虫

トピックス

京の農林女子の悩みを軽減！便利機能商品の開発

府内でがんばる女性農林業者（30名）が集まり、昨年8月「京の農林女子ネットワーク」を結成しました。

京の農林女子ネットワークでは、お互いの交流を深めながら、作業時における農林女子特有の悩み（日焼け・虫除け・臭い・腰痛対策等）を軽減するため、企業と連携して快適でおしゃれな便利機能商品を開発中です。

便利機能商品開発検討会（平成28年11月18日）



流通・ブランド戦略課 農業流通・販売戦略担当 TEL：075-414-4954

KYO 農食材御用聞き^のの活動をご紹介します

府では、平成28年度から、食品企業等の実需者ニーズを産地と結びつけ、マーケットイン型農業を拡大するため、日頃から外食産業等の実需者と交流の深い、商工団体や民間企業の職員による「KYO 農食材御用聞き活動」をスタートさせ、これまでにトウガラシ、堀川ゴボウ、ソバ等でマッチングを進めてきました。

平成29年度には、京の伝統・文化を代表する生け花や茶道等で使われる「花き」についても、その分野に詳しい「御用聞き」を新たに任命し、食用農産物にとどまらない、より広範なマッチングをめざします。

第1回「KYO 農食材御用聞き」に任命されたメンバーの方々



農産課 京野菜振興担当 TEL：075-414-4944

伝統の「京たけのこ」栽培を「京都援農隊」が応援！

京都市西京区から乙訓地域にかけて広がる丘陵地では、手間ひまかけた伝統の方法で柔らかくておいしいたけのこが栽培されており、最高級品は「白子」と呼ばれています。

ボランティアの方々で組織された「京都援農隊」がたけのこ畑に藁を敷く作業のお手伝いをしました。農家さんも援農隊員も笑顔で楽しい時間を過ごしました。

たけのこ畑で敷藁作業を行う京都援農隊員



京都乙訓農業改良普及センター TEL：075-315-2906

若手農業者大交流会を開催！

府内では毎年160名程度の方が新規に就農・就業しています。こうした若手農業者に仲間づくりのきっかけとしてもらうため、平成29年2月9日（木）に交流会を開催しました。

当日は173名の参加があり、第1部のセミナーでは（株）中嶋農園の中嶋直己さんなかしまなおきによる取組事例の紹介と、（株）はたらこらぼの臼下章子さんくさかあやこによるビジネスマナーの講演を行いました。第2部ではFM局α-STATIONのDJ佐藤弘樹さんと谷口キヨコさんの司会のもと、会場全体で名刺交換を行い、思い思いに交流を深めました。

仲間づくり名刺交換会の様子



経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成担当 TEL：075-414-4942

「弁当の日」を広めよう 意見交換会

第3次京都府食育推進計画の目標の一つ、自分で作る「お弁当の日」の取組を広げるために、平成29年3月2日（木）、南丹市立八木東小学校で『「弁当の日」を広めよう 意見交換会』を開催しました。

南丹市では平成28年度に、市内の小学校7校中4校でお弁当の日を実践。意見交換会では、学校の先生、食生活改善推進員、地域の農家の方や市の職員等が、実施までの経過や関係者の連携、仕組みづくり、苦労した点などについて情報交換を行いました。

同日に行われた「弁当の日」（八木東小学校6年生）



食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当 TEL：075-414-5656

公募型木のまちづくり推進事業を実施しました！

平成28年度公募型木のまちづくり推進事業により、府内産木材を使用した民間の施設整備を、府内14箇所で開催しました。

当事業は平成28年度から導入された「豊かな森を育てる府民税」を活用し、多くの府民が利用する民間施設での府内産木材の使用を促進することで、森への理解を深め、健全な森林の育成をめざすものです。

平成29年度も継続して実施しますので、応募をお待ちしています！



風景に溶け込む木のぬくもりのある駅舎
（叡山電鉄二ノ瀬駅：平成29年2月）

林務課 木材産業担当 TEL：075-414-5009

地域の取組

丹後

府南部の量販店に「丹後の農産物」常設販売コーナーが誕生

平成28年11月から、京都生活協同組合のコープ男山店（八幡市）に、丹後産農産物の常設販売コーナーが開設されました。これは、丹後地域の農業者と（株）丹後王国（京丹後市）がタッグを組み、



コープ男山店 丹後産農産物常設コーナー

丹後の農産物をほぼ毎日、都市部の消費者に直接届ける新たな物流を開始したものです。オープン時には、生産者動画の放映やPRチラシ配布等の販売促進活動が行われました。

丹後のおいしいお米やサツマイモ、梨、九条ねぎ、キャベツ、ブロッコリー等の旬の野菜や果物が買えるとあって、人気を集めています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

丹後広域振興局 農林商工部 丹後農業改良普及センター TEL：0772-62-4308

中丹

「地域農業を守るための野生獣害対策研修」を開催

～京都府農地・水・環境保全向上対策協議会 中丹ブロック～

平成28年12月15日（木）、福知山市内のホテルで、多面的機能支払交付金等の活動組織役員を対象に、野生獣害対策に関する研修会を実施し、160名を超える方が参加されました。

元近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム長の井上雅央氏^{いのうえまさてる}を講師として招き、より効果的な侵入防止柵の設置方法や点検管理の要点のほか、地域の果樹・残飯等を放置せず、年間を通して



講師の話に耳を傾ける参加者



電気柵の設置留意事項の説明
（講師：井上雅央氏）

てえさ場と思わせないことや、農地近くに隠れ処となる雑草地を作らないことなど、対策のポイントを学びました。

参加者からは「早速、地元で広めたい」といった声が聞かれ、地域ぐるみの取組による効果の向上が期待されます。

中丹広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室 TEL：0773-62-2505

南丹

森の京都「農山村教育民泊フォーラム」を開催

森の京都エリアでは、豊かな森の恵みをいかし、食や農の体験学習ができる教育体験旅行を積極的に受け入れており、その数は年々増加しています。

今回、平成29年2月26日（日）、（一社）京都丹波・食と森の交流協議会の主催により「農山村教育民泊フォーラム」を開催し、受入家庭や関係者が一堂に会しました。

教育民泊に来られた中学校の校長先生の講演では、「(体験により)生徒が変わる。さらに教員も変わる」「ホンモノを体感する経験は宝。それができるのが教育民泊」など、学校側からみた教育民泊の意義について語られました。

また、実際に体験した生徒代表によるスピーチもあり、参加者の皆さんは、「取組の持つ素晴らしさを再認識した」「受け入れた生徒の感想が聞けて感激した。また受け入れたい」などと、今後の受入に向けた決意を新たにしました。

生徒代表から「心が伝わった、温かさを知った」と熱のこもった発表がありました



南丹広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL：0771-22-0133

山城

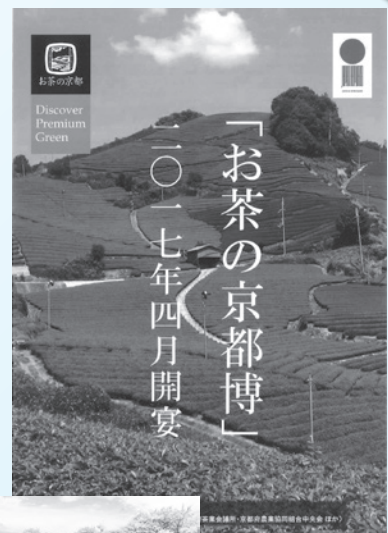
お茶の京都博がはじまります！

平成29年4月からは、いよいよ山城地域を舞台に「お茶の京都博」が開催！

「お茶の京都博」は、メインイベント、エリアイベント、ネットワークイベント及び市町村・関連イベントで構成されています。広く国内外の方々に山城地域を訪れていただき、本物の宇治茶に出会っていただくため、年間を通じて多彩なイベントを催しますので、ご期待下さい。

4月 1～ 2日	オープニング さくら茶会	八幡市
7月 1～ 2日	日本遺産サミット	精華町
10月21～22日	宇治茶博@文化	宇治市
11月10～11日	宇治茶博@産業・国際交流	城陽市
3月 (予定)	テイクオフパーティー	木津川市

オープニングイベント さくら茶会イメージ



「お茶の京都博」ポスター

山城広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL：0774-21-2392

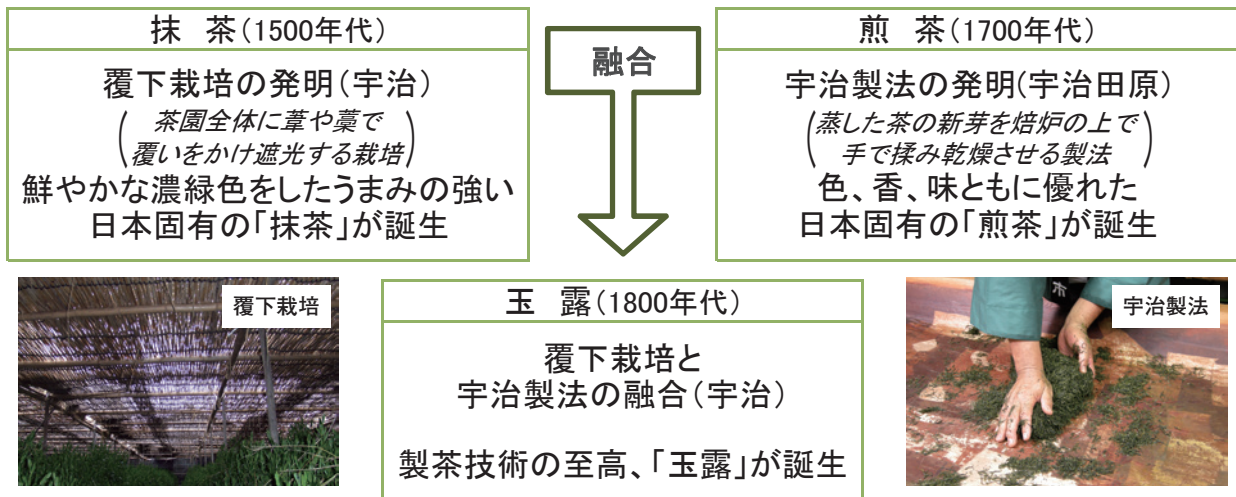
シリーズ 世界に誇れる宇治茶の魅力

第3回 宇治茶のイノベーション

中国から茶が伝えられて以降、京都府南部の山城地域では栽培、製法、加工において独自の工夫をこらし、世界にない新しい緑茶、「抹茶」「煎茶」「玉露」を生み出しました。日本の産地の中では唯一、新しいお茶の種類を作り出した歴史をもっています。

日本茶の発展は、宇治茶を源流として全国へと大きく広がり現在に至っています。

山城地域における茶生産技術革新の展開



お茶こぼれ話

宇治茶手もみ製茶技術(宇治製法)は、現在の製茶技術の基礎技術として資料的な価値も高く、民俗技術としても重要であるとして、京都府無形民俗文化財に指定されています。(平成20年3月)

農産課 宇治茶・特産振興担当 TEL: 075-414-4944

お知らせ

農 作 業 安 全

～平成29年春の農作業安全運動開始～

「一人一人の安全意識の向上で事故防止」
安全確認を徹底しよう!!

運動期間：4月1日～6月30日

春の農繁期、田植機やトラクター等の
操作には十分注意して、農作業事故を
防ぎましょう。



お知らせ

家畜を飼育している皆さんへ

2月1日時点の飼養状況の
報告が法律で義務化されて
います



報 告 期 限

毎年 **4月15日** 毎年 **6月15日**
(牛、馬、めん山羊、豚など) (鶏、あひる、だちょうなど)

お問合せは、最寄りの家畜保健衛生所へ

参加者募集中!!

伝統ー森林ー未来へ

～森林と関わる暮らしの歴史を学ぶエクスカージョン～

6月10日～11日開催 詳しくは(公社)京都モデルフォレスト協会へ

発行/平成29年3月

編集/〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL: 075-414-4898 E-mail: nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。

歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか

公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>